

施政方針に対する質問

東海林

一樹議員



安全安心の
まちづくりの推進

問 地震などの自然災害や大規模な事件、事故などに備えて町民全戸に一斉緊急同報のできる防災行政無線デジタル同報系施設の整備に新年度予算に約3億円が計上されている。しかもその9割は借金である。私も町民の安心安全につながることであるならば、いくら

お金がかかってもやらなければならぬと思うが。

防災無線を全戸に設置するという話が議会にあったのは昨年の12月。最初は戸外にスピーカーを設置する方法だった。この間、経過の説明がなく、我々には唐突な提案である。そして、このことをほとんどの町民が分かっていない。また、これから機械も良くなる。よく検討したうえで進めるべきでは。

町長 当初、各地区にスピーカーを立てるという考えをしていた。ところが去年8月に兵庫県などでの大雨による災害時にスピーカーからのお知らせがほとんど聞こえなかった。このことから防災行政無線のあり方について全国的に検討され、その中で提案されたのが各戸に無線の受信機を置いて周知する方法である。

最新の設備を取り入れて非常時に備えたい。是非ご理解をいただきたい。

元気なまちづくり・道の駅問題

問 12月議会で道の駅をどう運営するのか。何を売るのか。中身をよく検討してから予算を諮るべきではないかと申し上げた。その後、執行部で熱心に検討協議したと聞いていない。ソフト面をじっくり考えて、これなら何とかやっていけると思える時点で実施設計に入るのが順序だと思いが。

町長 道の駅は全国各地にあり、この町でやれる基盤はある。ゼロから始まるのではない。何を目玉にするかは運営をする中で非常に大切である。現在、町民の中で取り組んでいるものを検討すれば十分やっていける。

実施設計の発注については、国、県の助成制度の見直しや議会のご理解を得たうえで実施する。

少子高齢者対策

問 施政方針の中に介護施設のことには何もふれていない。昨日の一般質問の答弁でも、町長からは、是非やりましょうという積極的な答えが得られなかった。町長は就任当初から福祉のまちづくりを掲げている。どうか早急に特老施設を造る準備に取り組んでいただきたい。

町長 町にどういう施設がいいのか、介護保険料にどう影響がするのかなど、そういうことも含めて検討して、進める必要がある。なお、一般質問で申し上げたとおり、特別養護老人ホームや老健施設、あるいは地域密着型施設は、この国見町にぜひ必要であると思っている。

要望 道の駅より介護施設の整備が先ではないか。町民の声もそうである。町長

が言う規模や種類の問題は、当然検討しなければならぬと思うが、施設を運営する人たちとそのことについて徹底的に協議をして、この町に最もふさわしい施設をぜひ急いで考えていただきたい。

村上

晴夫議員

重要政策の施策決定
プロセスについて

問 今回提案の防災行政無線システム、また道の駅設置実施計画など役場内部で十分な議論が尽くされていないのではないかと。重要政策の施策決定までのプロセスについて伺う。

町長 道の駅は、庁内検討委員会なり、あるいは道の駅の懇談会で、防災行政無線については町の防災計画見直しの討議を積み重ねて提案している。